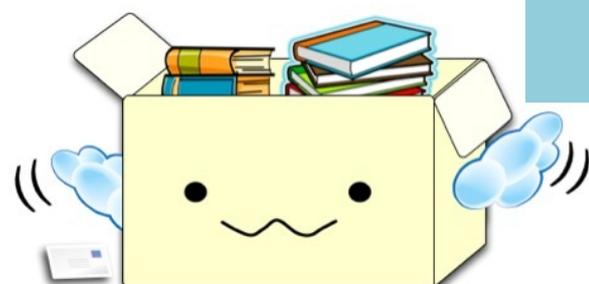


あくせす

・ぽいんと



● あくせす ・ ぽいんと とは？

文化活動の象徴の一つである図書館が、将来にわたって持続的にサービスを展開するためには、運営主体となる組織だけでなく、総体として図書館活動を支援する組織が必要不可欠です。急速な情報通信技術の進化とそれに伴う読書環境の変化、子供の貧困等による教育環境の格差など、活字文化を推進する図書館が取り組むべき活動はたくさんあります。

上述の問題意識から、図書館を取り巻く行政等の支援、読書、学習を希求する人々への支援等を基本として、教員、学生、その他が協同しながら社会貢献できるための組織「特定非営利活動グループ あくせす・ぽいんと」を設立しました。あくせす・ぽいんとは、関西大学ボランティアセンターとの協働を通して、ボランティアのあり方を模索しながら、関西大学による地域連携の活性化と、「共存・協働関係」の文脈の中で、図書館が提供する公共サービスの発展に寄与することを目的としています。そしてこの目的を達成するため、次に掲げる事項を実施しています。

- (1) 目的達成に必要な調査・研究活動
- (2) 目的達成に必要な事業の企画・運営
- (3) 目的達成に必要な人材および活動の育成
- (4) 目的達成に必要な広報と情報提供
- (5) 図書館サービスに関わる個人および市民活動団体・企業と行政との交流と事業連携
- (6) 図書館サービスにおける行政業務の支援および提言・評価
- (7) その他、会の目的達成に必要な活動



キャラクター紹介



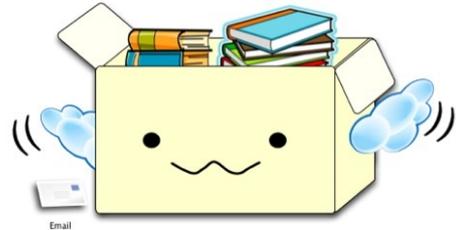
NAME

 SECCA セッカさん
(→ACCESS 逆読み)

 P.int ピントちゃん
(→P.int)

INFOMATION

「どんぐりと山猫」をモチーフとしています。子どもたちを本の世界へご招待します。どんぐりの代わりに本はいかがですか。



ゆな くん

(→「絆」のフランス語 ^{ユナ}une ^{タッシュ}attaché)

段ボールの中にあるたくさんの本を子どもたちに届けます。そして、同時に様々な人たちとのつながり、絆をつくります。

あくせす・ぽいんとが取り組むプロジェクト

目次

01	あくせす・ぽいんととの紹介	05	PICTURE-BOOK READING IN ENGLISH
02	マスコットキャラ	07	TERAKOYA
03	BOOKS FOR YOU PROJECT		

BOOKS FOR YOU PROJECT



被災地の学校図書館へ本を「贈ろう」プロジェクト

本の世界は、無限です。本が持つ最大の魅力は、その圧倒的な世界観をわたしたちに見せてくれること。その世界に 触れるたびに、わたしたちは新たな物語を知り、時として、ヒントが得られたりします。2011 年 3 月 11 日。東日本震災により、多くの人々が、その世界に触れる機会を失いました。未来を創っていく子どもたちにとって、それは大きな問題です。ぜひ、子どもたちの未来のため、多くの世界を知ることのできる「環境」を合わせて取り戻しませんか。少しずつでいいのです。わたしたちができる範囲でいいのです。学校図書館へ本を「贈って」いただけないでしょうか。

学校図書館へ本を「贈ろう」プロジェクト

: 「*Aid to School Library Project - Books for You*」

2011 年 3 月 11 日以降、あくせす・ぼいんとは、上記、被災地の学校図書館へ本を「贈る」活動をしてまいりましたが、2012 年度より、その対象を被災地以外の全国の学校図書館および関連施設へ広げることいたしました。健常者・障がい者・経済的格差等に関係なく、子どもの読書環境整備のために、児童書（活字本）を寄贈するプロジェクトです。「絆の力」で学校図書館および関連施設をご支援ください。未来を創る子どもたちのために。



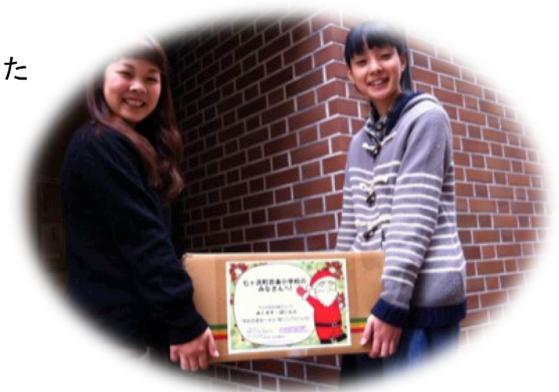


Imagination is more important than knowledge !!!

（知識よりも大切なのは、想像する力だ。）

これは、かの有名なアインシュタインの言葉ですが、想像する力は、抽象的な「活字」を通して学習していくのが一番の近道です。動画や映像は、理解を助ける手段としては、ものすごい威力を発揮しますが、自らの力で（強制的であったとしても）考える、想像するといった行為は、あえて想像しにくい「本の世界」が大きな手がかりとなります。読書は、新しいことを学ぶということだけでなく、想像力の活性化という脳の機能を高める力があるのです。

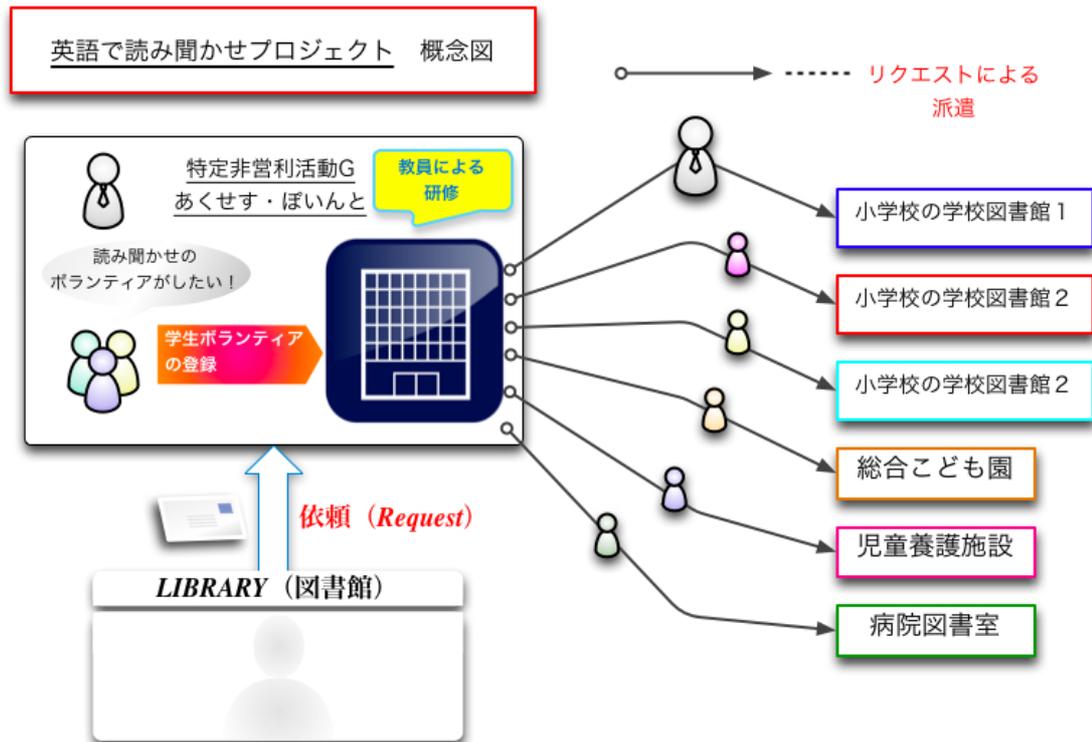
活字を媒介できる本を通して、未来をつくる子どもたちを応援し続けませんか？「絆の力」で、本のスペシャリストである学校図書館を支援していきませんか。子どもたちのために読書文化・出版文化を支援していきませんか。皆様方のご支援をお待ち申し上げます。



Picture-Book Reading in English

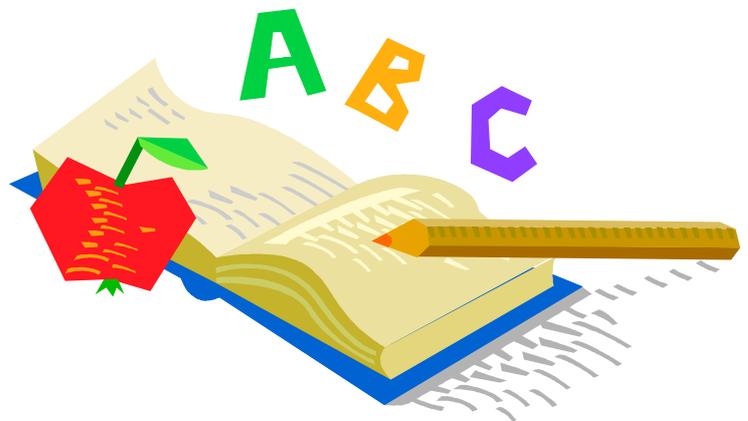
英語で読み聞かせプロジェクト

生涯学習のスタートラインは、本に親しむことです。あくせす・ぽいんとでは、全国各地で行われている「読み聞かせ」を「英語」で行うプロジェクトを展開しています。図書館からの依頼を受けることを前提に、あくせす・ぽいんとメンバーが、図書館もしくは小学校の学校図書館等で読み聞かせをさせていただきます。





発達心理学の分野では、絵本の読み聞かせが、子ども自身の読書の取り組み方に影響を与えるだけでなく、子ども自身を取り巻く「世界」を学ばせられるという教育的効果が示されているそうです。なお、英語についての早期教育には賛否両論ありますが、読書をすることや英語を学ぶことを「嫌いにさせない」という前提で、あくせす・ほいんとは「英語で読み聞かせプロジェクト」に取り組みます。





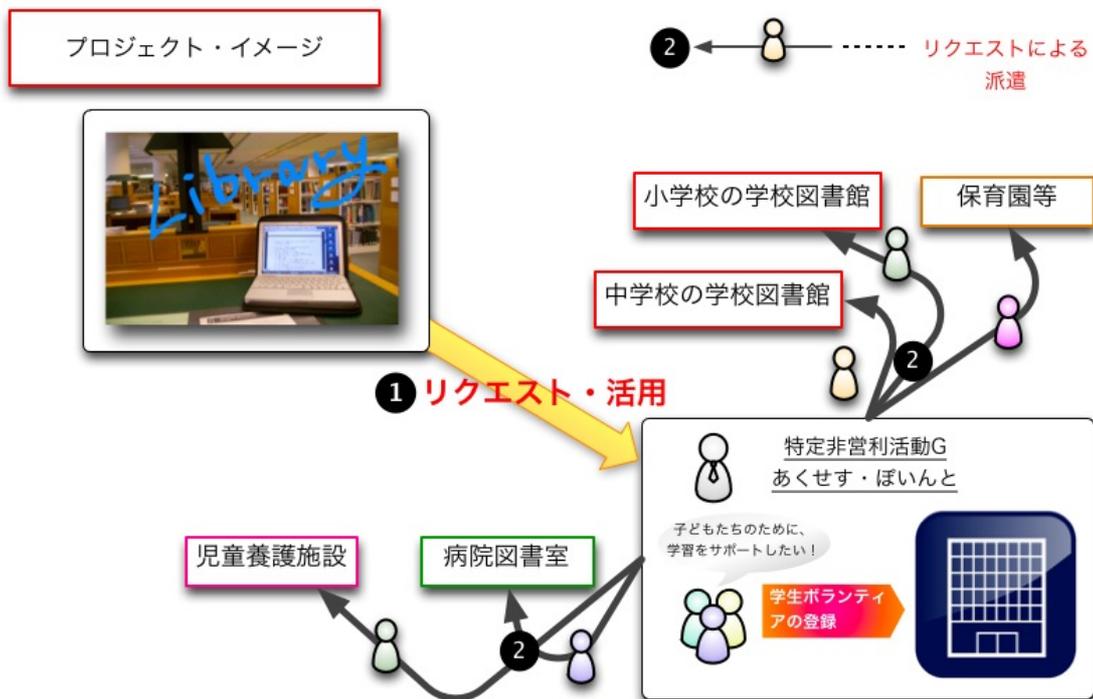
Terakoya

図書館文化支援プロジェクト

図書館は学習や教養深化のための施設でもあります。昨今、経済的な問題等から十分に学習できない子どもたちの存在が社会問題化してきています。図書館が学習支援サービスを充実させるためにも、私たちあくせす・ぽいんとは、学習支援を必要とする子どもたちのために、図書館と連携して、大学生のボランティアを派遣したいとおもいます。「学びたい」という気持ちは、経済的な問題や生活環境の問題によって阻害されてはならない子どもたちの権利です。



図書館が学習支援サービスを充実させるためにも、私たちあくせす・ぽいんとは、学習支援を必要とする子どもたちのために、図書館と連携して、大学生のボランティアを派遣したいとおもいます。「学びたい」という気持ちは、経済的な問題や生活環境の問題によって阻害されてはならない子どもたちの権利です。



● 問い合わせ

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35

関西大学文学部 渡邊研究室内

特定非営利活動グループ

あくせす・ぽいんと事務局 (わたなべ)

MAIL v.accesspoint@gmail.com : 24 hours

TEL 090-1099-9365 : 9:00-19:00

Twitter @v_accesspoint

ホームページ <http://www.v-accesspoint.org/>



